

えりも町キャラクター
ウインディーくん



1 月 2019
号 No. 962

広報 えりも

Public Relations Erimo



謹賀新年



つきたてのお餅を丸める子どもたち

あせらずへこたれず
「よいしょ！よいしょ！」

12月1日、東洋生活館では、「よいしょ、よいしょ」という元気な掛け声とともに「べったん、べったん」と、お餅をつく音が響いていました。

東洋小学校PTAは、東洋老人クラブの協力で「餅つき集会」を行いました。最初に東洋老人クラブの男性が力強くお餅をつき、続いて東洋小の児童が交代でつきあげていきました。

あんこ餅ときなこ餅とお雑煮用の3種類に丸められたお餅には、個性的な形のものもありましたが、自分でついで丸めたお餅の味は格別で、美味しそうに頬張る姿が見られました。会食では、老人クラブ会員自慢の漬物も振る舞われました。

年頭の

ごあいさつ

新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、旧年中はもとより、日頃から町政各般に対する特段のご理解とご協力を賜り、深く感謝とお礼を申し上げます。

早いもので、町長として町政のかじ取りを任せていただいていたから2度目の新年を迎えることとなりました。この間、さまざまな課題に直面しながらも、町民の皆さまが住んでいて良かったと思えるえりも町を目指し、町政運営を心掛けてまいりました。今年も、課題解決に向けて全身全霊を捧げて取り組んでまいります。さて、昨年の一年間を振り返りますと、国内外での様々なことが思い出されます。

まず、最初に思う事は非常に災害の多い年であったという事です。日本国中が台風や豪雨、そして暑さに

見舞われる中、北海道においては初の震度7を記録する胆振東部地震が発生いたしました。当町では電源喪失により、産業活動はもとより、テレビ、携帯電話の使用が制限されるなど、日常生活にも多大な影響を及ぼし、自然の驚異に対する備えはどれだけあっても充分ではないのだと気を引き締めたところであります。

政治の分野においては、第4次安倍改造内閣が発足されました。首相は地方創生対策や格差対策が効果を上げたとし、日本の国造り、国難級の少子高齢化に立ち向かうと訴えておりますが、いまだその効果を実感するには至っておりません。

また、海外情勢は、米中による貿易問題は「戦争」と表現されるまで加熱し、世界経済に影を落としました。国民にとつての悲願であります北方領土返還を含む日露関係についても、日ソ共同宣言を基礎に平和条約交渉を加速させるとの首相発言が報道されたところですが、関係閣僚の発言を見る限り前途多難の様相を呈しているようです。

このように、様々な困難が私たちを取り巻いている状況ではありますが、町内においては、産業の動向に一喜一憂した年となりました。

水産業においては、昆布漁は地区ご

とのバラつきはあるものの、平年並みの採取目となり、浜に活気が見られました。秋サケ定置網漁については、残念ながら、庶野地区、目黒地区など襟裳岬以東の海域では昨年引き続き不漁となつてしまいました。本町地区や近笛地区では水揚げが回復傾向となりました。充分な状況ではありませんが、多少安心したところでもあります。

農業においては、肉用牛の枝肉価格は漸減傾向にあるものの、子牛の価格は高値で推移しており、全体的に価格は比較的安定を保っているようです。

町といたしましても、この状況をさらに改善、推進するため、水産物荷捌施設設置事業、漁業後継者育成事業や優良繁殖素牛貸付導入事業など基盤整備に努めてまいりました。

また、大和地区へ株式会社北海道中央牧場えりも農場を誘致いたしました。これにより、町の雇用と産業の活性化が期待される所です。

福祉や教育の分野におきましても、全国各地の皆さまからの善意のふるさと納税により、すこやか赤ちゃん誕生祝い金事業や子ども歯科保健対策事業、各小学校へのAED更新事業や庶野児童クラブ開設事業などを実施することができました。

迎えた新年であります。平成最後の年でもあり様々な変化が訪れる年であると感じています。今後、一層深刻となる少子高齢化のなか、予算執行においても最小の経費で最大の効果を挙げる事ができるよう、真に必要な事業を検証し、「選択」と「集中」による重点化を図りつつ、町民皆さまのご意見を丁寧にお聞きして職員一同知恵を絞り、汗を流してまいります。

結びとなりますが、本年が皆さまにとつて、輝かしい未来へ向けた実り多き一年となりますよう、益々の発展を心からお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



えりも町長 大西 正紀

町議会 第3回定例会

行政報告

12月定例町議会が12月14日に開会され、議員4人から5件の一般質問があり、条例改正、補正予算など、提出された議案について審議されました。

町長と教育長が行った行政報告を要約して掲載します。

大洲市との交流事業

一般行政報告

7月の西日本豪雨で甚大な被害を受けた当町の友好都市である愛媛県大洲市に対し、町から100万円の見舞金や町議会議員会をはじめ町民や産業団体から寄せられた義援金50万円、町

内全学校の児童・生徒たちの応援メッセージをお贈りしました。また、8月末までは大洲市のふるさと納税業務の代行も行いました。9月26日には大洲市の市民訪問団、総勢23人が当町を訪れ、福祉センターで交流会を開催しました。団長の大野立志市議をはじめ大洲市民の皆さまには、マツブやサケ鍋などの地元食材を使った料理を味わいながら、えりも古式舞踊部会による「アイヌ民族伝統舞踊」を楽しんでいただきました。訪

問団は、翌日早朝からえりも港でのサケの水揚げ、襟裳岬の緑化事業や風の館などを見学し、その後、札幌などを巡り29日に大洲市へ帰郷しました。大洲市との友好関係は、平成5年に合併前の旧肱川町にえりも風の会が大風を寄贈したことをきっかけとして始まりました。

襟裳岬の緑化事業の映画化

浦河、様似、広尾及びえりもの四町で進めている浦河町出身の田中光敏映画監督による、襟裳岬の緑化事業を題材にした映画「北の流水（仮題）」について、10月14日に映画製作準備委員会を設立しました。準備委員会は、四町と監督の製作会社である株式会社クリエイターズユニオンで立上げ、えりも町が事務局を務めます。今後、2021年の映画公開を目標に、映画製作するための支援や協力

を行い、映画を通じた地域の活性化を図ることを目指します。

えりもカフェの開催

核家族化や単身化、近隣関係の希薄化などから地域での孤立が問題となっており、身近なところで気軽に集まることのできる場として「サロン」活動が全国的に広がりを見せています。また、高齢化の進行に伴い、認知症高齢者の増加が見込まれる中、認知症の方やその家族同士が情報交換し、医療や介護の専門職に相談ができ、地域の方々との交流も行える場として「認知症カフェ」の設置が求められています。この2つの機能を取り入れた「えりもカフェ」を、10月から毎月1回、役場町民ホールにおいて開催しております。開催日には、認知機能が低下している方やその家族などが参加され、お茶やお菓子を楽しみながら参加者同士の会話も弾み、終始和やかな雰囲気での交流していただいております。今後、この「えりもカフェ」が、地域の方に気軽に利用していただけるよう、その充実を図ってまいります。

介護予防講演会の開催

11月19日、福祉センターにおいて介護予防講演会「ふまねつと運動で

健康づくりとまちづくり」を開催しました。講師には、ふまねつと運動を考案した、認定NPO法人ふまねつと理事長の北澤一利氏をお招きし、住民が地域で自主的に健康づくり活動に取り組むことの意義や必要性、ふまねつと運動の効果などについて映像と実技指導を交えながら講演をいただきました。ふまねつと運動は、高齢者の方の歩行機能の維持や改善に加えて、認知症の予防についても効果が期待できる運動学習プログラムの一つであり、健康寿命の延伸に繋がる有効なものと考えておりますので、その普及についてサポーターの養成等も含めながら、取り組みを進めてまいります。

インフルエンザ予防接種事業

インフルエンザの発症や重症化を予防し、子どもを持つ家庭等の経済的負担を軽減するために従っております「インフルエンザ予防接種事業」を、昨年度に引き続き、今年度も高校生までと65歳以上等について、町が接種費用の全額助成をすることで実施しているところであります。平成29年度は、これまで小学校6年生までとしていた助成対象年齢を高校3年生まで拡大するとともに、接種費用の全額助成を行ったことによ

り、接種者数は1169人となり、前年度より18.3%増加しました。

第37回えりも海と山の幸フェスティバル

第37回えりも海と山の幸フェスティバルを10月7日にスポーツ公園で開催予定でしたが、台風25号の接近により、やむなく中止としました。今年度は、昨年、秋サケの記録的な不漁により中止とした「サケのつかみ捕り」も実施予定だったが非常に残念な結果となりました。フェスティバルを楽しみにされていた町民の皆様や観光客の皆様、フェスティバル参加のため準備を進めていた関係団体の皆様に対し、来年以降の参加についてお願い申し上げます。

緑化事業

えりも岬の緑を守る会主催の「えりもイキイキ森林づくり事業育樹祭」が、11月1日に百人浜の旧レストハウス前の国有林内で開催されました。当日は、来賓の北海道森林管理局計画保全部長をはじめ、町内外の95人の方に参加いただき、高さ5mほどに育ったクロマツの林で枝落とし作業を行いました。町として今後も関係機関と連携し緑化活動を継続していくとともに、様々な機会を通して、

次の世代へ緑化の歴史を受け継いでいきたいと考えております。

マツカワ及びマガレイの稚魚放流

マツカワについては、昨年は栽培漁業伊達センターでの種苗生産が不調だったことにより、町内で8千尾の放流にとどまりましたが、今年度は種苗生産が順調に行われ、6月29日から7月10日の間に稚魚46万5千尾をえりもセンターに搬入し、中間育成を行いました。その後、順調に成長し、9月3日から10月23日にかけて日高管内の17か所に放流し、その内町内では、各漁港から合計14万5百尾を放流いたしました。来年度も計画どおり放流が実施できるように、関係機関と万全の態勢で準備していきたいと考えております。また、マガレイについては、6月18日、19日にカレイ刺網で水揚げされた雄51尾、雌75尾を収容し、自然産卵法により受精卵2516万粒を得ました。その内1745万粒を孵化槽に収容し孵化管理を行いました。孵化した仔魚60万尾を飼育水槽に収容し、他の受精卵771万粒、孵化仔魚1512万尾については、えりも港内に放流しました。マガレイは獐猛な習性を持つため断続的な減耗が

ありましたが、10月23日に約3cmに成長した稚魚15万尾を放流し、今後の資源増に期待しております。



庶野漁港からマツカワの稚魚を放流した庶野小児童（10月11日）

豊似湖ヘリコプター遊覧飛行と森と湖の里ふれ愛館

豊似湖ヘリコプター遊覧飛行について、今年度も株式会社JT北海と連携して、旧目黒小中学校グラウンドをヘリポートとして、紅葉時期に合わせ9月29日から10月21日までの23日間実施しました。期間中は、集客が期待できる週末に台風の接近などがありました。道内外及び国外から204人の利用があり、対前年比約40%の増加となりました。これは、今年で4年目となり周知が進んだことやファミリー割引など料金

体系の見直しを行った結果であると考えております。また、旧目黒小中学校を改修した「森と湖の里ふれ愛館」は、4月16日にオープンし、10月30日閉館までの間に1404人の利用がありました。えりもの地場産品を活用したメニューを提供し、多くの観光客と共に、目黒地区の方々にもご利用いただきました。

えりも町内における大型風力発電事業

11月9日付けの北海道新聞一面に掲載されたとおり、民間事業者による大型風力発電事業が上歌別・庶野地区の旧道管肉牛牧場跡地を中心に計画されており、事業計画が正式に決定した場合は、町有地を部分的に貸付する約束を取り交わしているところであり、事業規模については、出力4千2百kWの大型発電用風車を48基設置、最大20万kWを発電し、その他に大型蓄電池を設置することにより、町内の停電時にも対応できるようにする計画であるとのこと。現在は、環境影響評価、いわゆる環境アセスメントの手続きと北海道電力との接続に係る協議を行っているとのこと。今後、さらに経済産業省からの事業計画の認可や様々な関係法令に基づく許可など乗り越えなければならぬ事

教育行政報告

項が多くあるようですが、町の風が自然エネルギーとして活用されることから、事業計画の正式決定が待たれるところでもあります。

◇学校教育

各校の公開研究会

(1) 東洋小学校実践公開研究会

9月26日、東洋小学校でえりも町研究指定実践公開研究会並びに日高へき地複式教育研究大会が町内外から43人集まり開催されました。授業では、算数と道徳が公開され、11人の児童は立腰もしっかり身に付き、真剣に学習に取り組んでいました。

(2) えりも小学校の学校公開研究会

11月21日、「学校力向上に関する総合実践事業」実践指定校・地域連携主体校として、えりも小学校が学校公開研究会を開き、町内外から48人の教職員、学校評議員などが参加しました。研究発表と全学年国語科の授業を公開するとともに、研究協議や北海道教育大学準教授の講演がありました。児童は先生の指示に従い一生懸命学習していました。

(3) えりも岬小学校公開研究会

11月29日、えりも岬小学校公開研

究大会が開催され、高学年5・6年生の「考え、議論する道徳」の授業が行われました。授業では、道徳の教科書を踏まえて話し合いが行われ、児童は自らの行動を振り返るなど、真剣に考えていました。これらの研究会をはじめ、町内の教職員の情熱ある姿に対し心から感謝します。

防災教育

地震や津波など災害に対応する意識の高揚と態度を養うため、本年度から北海道で推進している「一日防災学校」を、えりも町の全小学校で地域住民を含めて「一日防災地域学校」として実施しました。5月24日に本年度全道に先駆けてえりも小学校での実施をスタートに、6月22日に庶野小学校(庶野港の津波の様子をビデオで視聴、神社高台に避難、非常食の試食等)、9月12日に笛舞小学校(避難訓練、簡易ベッドづくり等)、10月16日にえりも岬小学校(道道高台まで避難、非常食づくり、防災車両体験等)、10月30日に東洋小学校(引渡し体験、高台避難、防災マップ発表、簡易ベッドづくり体験等)で実施されました。

笛舞小学校の北方領土学習

11月12日、笛舞小学校で、北海道ふるさと教育・環境教育等推進事業

の一環として、北方領土出前授業が行われました。講師には元島民(択捉島)の安田愛子さんが道教委から派遣され、児童は島の自然、産業や歴史、占領時の様子など、北方領土について学びました。

剣淵町からの当町視察

10月22日、23日に、剣淵町が中高一貫教育のため、えりも中学校とえりも高校を視察しました。生徒会活動や部活動、授業での連携や学校間の計画や実践について説明しました。

えりも型地域学校研修会

学校教育においては、学校だけでなく児童生徒を育てることは難しく、地域・保護者の役割が一層重要となってきています。そのため、町民の意識の高揚を図るため、11月27日、福祉センターで「えりも型地域学校」研修会(一般には、コミュニティスクールと言われている)を開催しました。講師には平成27年度から先導的に進めている胆振管内壮瞥町の教育長と小学校長に来町いただき、学校評議員や自治会長、社会教育関係者、校長・教頭・教員など84人が参加し講演会を開催しました。来年度から、学校評議員制度を発展する形で、各学校が学校運営協議会を発足し、一步一步進

めてまいります。

日高教育局指導主事と教育委員の学校訪問

学校経営と教職員の指導力向上を目指した学校訪問が本年も全ての学校で実施され、教育局の指導主事21回、指導監15回の計36回、町教育委員訪問7回が実施されました。本年度も、訪問説明で校長、教頭に加え、教職員の出番(教務主任や研修部長、生徒指導主事の説明など)があるなど、組織の正常化の深化が見られました。

いじめ調査の結果と対応

本年度2回目の調査を11月に実施しました。児童生徒のアンケートでは、「嫌な思いをしたことがある」の回答は、小学生53人、中学生11人、高校生1人で、「今も嫌な思いをしている」の回答は小学生16人、中学生10人、高校生0人でありました。現在、この調査結果を受けて、学校では認知の有無を判断するとともに、教育委員会へは、その状況を報告し、学校、関係機関と共に連携を密にして解決するよう進めているところです。いじめ根絶では、5年目となる小学3年生以上の全児童生徒の「いじめ撲滅標語」や、「日高管内いじめメッセージコンクール」への応募などを通

して、意識の高揚を図りました。各学校で、標語や俳句をつくって掲示するなど、児童生徒の主体的な取組が積極的に行われてきていることは、大変よいことと思います。さらに、町人権擁護委員会の委員がのぼりやポスターを学校行事で掲示したり、人権教室を開催するなど連携が図られました。



町人権擁護委員会の委員によるえりも小での人権教室（10月19日）

中高一貫教育の推進

4月の「中学生保護者向けキャリア教育説明会」をはじめ、8月には中学校3年、高校1・2年を対象に「職業別ガイドダンス」、10月には中学2年の「1日体験入学」、11月には高校教員による「中学生面接」（中学3年）を実施する

など、中高連携が積極的に進められました。また、環境教育・ふるさと教育では、6月に中学生、9月に高校生が「人浜に学ぶ」植樹や剪定を実施しました。さらに、キャリア教育では、12月10日、町内小学6年生全員と中学生全員が高校生4人から進路講話（進路決定までの自らの体験を話す場）を受け、児童生徒が自分の生き方について考える機会となりました。授業では、高校教員の乗り入れ授業や体育科での合同授業、各種検定、部活動の連携も進められ、12月13日には中高合同会議を開きました。検定結果では、漢検2級合格2人（中1人、高1人）、数検準2級合格1人（高1人）、英検2級合格5人（高5人）など、大きな成果が出ています。

えりも高校の教育活動

(1) 進路指導

本校における進路は、11月16日現在、25人中就職8人（当初からの就職希望者は全員内定、公務員1人・民間企業7人）、進学17人で内定率40.0%となっています。また、進学と就職の割合は、昨年度同様、進学7、就職3の割合となっています。進路指導では、高校1年で職業調べ、2年でインターンシップ、3年でキャリアアップ学習等を行い、全

学年が放課後の課外講習体制を取って、各種講習、勉強合宿、検定前講習等を実施しました。

(2) 高文連美術展

毎年実施されている北海道高等学校文化連盟の支部美術展に本校美術部の2作品が出品され、1作品が最優秀賞、1作品が優秀賞となり全道美術展に出品されました。（全道展・優秀賞、1年・大川ほのかさんの作品「踏みしめたい未来」）

(3) バレーボール部の全道大会出場

10月6日に新ひだか町で開催された「第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会日高地区予選会」で、女子バレーボール部が優勝し全道大会へ出場しました。結果はフルセットの末1回戦（対網走南丘）で惜しくも敗退しましたが健闘しました。

(4) 生徒への補助

当町では、これまで「学びへの挑戦」の目的として「漢字・英語・数学検定」で小中高生に2分の1補助をしています。昨年10月からは、えりも高校の生徒のうち進学希望者には模擬試験、就職希望者には簿記検定等の検定試験料について2分の1補助をしています。また、生徒確保のため、町外生徒の通学への2分の1補助をしており、本年度は1人が当該制度を利用しています。

幼児教育

近年の少子化や家族構成の中で、健やかで人間性豊かな子どもを育てるため、幼児小の接続を図る質の高い幼児教育の推進が強く求められています。当町においては今年度、幼児小の三者代表者会議（幼稚園長、保育所長、小学校長）を9月10日開催し、今後の接続について協議し、12月17日には2回目の会議を開催することとなっています。その結果、11月には光の園幼稚園児がえりも小学校1年教室を訪問するなど、接続を図る活動が開始されました。今後は、幼児教育の質の向上と円滑な接続に向けた施策を検討し、幼児小の接続・連携を推進します。

◆社会教育

高齢者教室生大会

11月10日、高齢者教室生大会を福祉センターで開催し、町内に8地区ある教室で学習をする教室生106人が一堂に会しました。本年度は東洋小学校児童の歌や合奏、岬小町会の舞踊が花を添え喜ばれました。

幼児教育振興会事業

幼稚園・保育所の保護者や先生で

構成する幼児教育振興会が11月21日と22日、幼稚園と保育所の合同で人形劇「こだぬきポンタのお話」「今夜は食べ放題」等の鑑賞会を開催しました。幼児は、目を輝かせて人形劇に見入っていました。

日高地区PTA研究大会兼 母親研修会

日高地区PTA連合会が11月4日、えりも中学校を会場にして元NHKアナウンサーで、のど自慢でもお馴染みだった宮本隆治さんを講師に、「よい印象の言葉力、30秒で人の心をつかみ、1分でまとめる」と題して講演会を開催しました。保護者や教職員290人が参加し、多くの貴重な話を興味深く拝聴しました。

青少年健全育成事業

青少年健全育成会と市街地青少年育成協会は11月25日、幼児やその保護者、小学生を対象に、子どもわくわくチャレンジデー事業を開催しました。「つまむ」や「投げる」などで競う「えりも遊びリンピック」が小学生34人が集まって開催され、当たった的の得点を競うディスクチャレンジなど5種目に挑戦しました。また、わくわくさん工作ショーには、幼児の保護者を含めて100人

が参加し、物づくりの楽しさやおもしろさを教わりました。



福祉センターで開かれた「えりも遊びリンピック」(11月25日)

放課後児童クラブ

保護者が就労等により家庭にいない児童を対象にした、えりも放課後児童クラブは、平成24年4月に開設して本年度で7年目を迎えました。

また、庶野放課後児童クラブを本年4月から開設しています。11月末現在の利用状況は、えりも放課後児童クラブが、登録者数35人で、利用者数は延べ3101人、庶野放課後児童クラブは、登録者数20人で、利用者数は延べ1012人となっています。

芸術・文化の振興

文化協会は、10月23日から28日ま

での期間、福祉センターで第48回えりも町文化祭を開催しました。作品展は書や俳句、陶芸のほか、幼稚園、保育所、小中高生が手がけた図画や習字など810点が会場を彩りました。また、最終日の芸能発表会には、町内の11団体が出演し、日頃の練習成果を発表しました。

体育の振興

(1) 町民マラソン大会

毎年10月恒例の町民マラソン大会は、40回目となる節目の大会で、参加申し込み数165人と過去最多になりましたが、悪天候のため中止となりました。参加予定であった東洋小学校は初めての試みとして、町民マラソンに位置付けて実施する地域学校の趣旨を踏まえたものでしたが、単独で校内マラソン大会として10月26日、百人浜で実施しました。

(2) バレーボール少年団の全道大会

出場

9月23日に新冠町で開催された道新カップ小学生バレーボール大会日高地区予選において、えりも岬ウインデイズバレーボール少年団が優勝、えりもバレーボール少年団が準優勝し、9月30日に開催された道新ポーツ少年団バレーボール大会日高地区予選において、えりも岬ウイン

デイズバレーボール少年団が優勝しました。それぞれ全道大会に出場して大いに健闘しました。

(3) えりも町スポーツ奨励賞

10月30日にえりも町教育委員会において、第15回北海道小学生学年別柔道大会で優勝し、全国大会に進出したえりも柔道少年団、えりも岬小学校6年 鈴木美緒さんにスポーツ奨励賞を授与しました。

郷土資料館事業

(1) 国指定文化財

国指定名勝ピリカノカ「襟裳岬」、国指定史跡「猿留山道」の文化財パトロールを実施しました。また、11月11日に開催した秋の猿留山道を歩く会には27人が参加しました。

(2) 体験事業

10月から開催した体験陶芸教室には、午前、夜の部と計24人が参加し、創作の楽しさを実感しました。「生き物調査隊」では、悲恋沼周辺の生物調査を4回実施し、その成果をまとめて、町文化祭で展示発表しました。10月27日には「わらしやんど・えりもまるごと自然体験」を実施し、児童はサケの遡上見学と解剖を行い、12月1日には自然の素材を採取し「リース」や「まゆだま」づくりをとおして、えりもの魅力と風習を学びました。

地区別町政懇談会を開催します



企画課広報係
(☎24612)

町が行っている様々な事業の説明や、町民皆さまからのご意見や要望などを話し合う場として、毎年開催している地区別町政懇談会を、次の日程で開催します。皆さまのご参加をお待ちしております。

開催日	地区・自治会	会場	開始時間
1/29 ☐	東洋	東洋生活館	10時～
	大和1・2、和里	大和共同作業所	13時30分～
	えりも岬	林業総合センター	15時30分～
1/30 ☐	本町、新浜	福祉センター	10時～
	西えりも	西えりも生活館	13時30分～
	近浦、笛舞	笛舞ふれあい館	15時30分～
1/31 ☐	歌別、上歌別	歌別生活館	10時～
	庶野	庶野生活館	13時30分～
	目黒	目黒生活館	15時30分～

働いている調理師の皆さまへ



☎北海道浦河保健所
(☎0146②3071)

調理業務に従事している調理師の方は、2年ごとに、12月31日現在の調理従事場所等を届け出ることになっており、今年は届け出の必要な年となっております。

次のところで調理の業務に従事している調理師は届け出が必要です。
・学校、病院、社会福祉施設、介護老人保健施設、老人福祉施設、事業所、その他多数人に飲食物を調理して供与している施設
・飲食店営業、魚介類販売業、そうざい製造業

平成30年12月31日現在の状況を、一般社団法人北海道全調理師会浦河支部えりも分会(幌泉郡えりも町本町・味楽亭 飯田稔 ☎0146②2604)に、平成31年1月15日までに届けてください。

栄養士・調理師免許に関する手数料の減免(免除)措置について



☎北海道浦河保健所
(☎0146②3071)

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震により、災害救助法の適用を受けている道内市町村において、被害を受けた関係者等の負担の減免(免除)措置を行うこととしました。

対象者

栄養士及び調理師免許保持者のうち(1)被災により、免許証等が紛失または汚損したため、再発行の手続きをする方

(2)被災により、申請者住所を変更したため、免許証等の書換交付の手続きをする方

対象期間

災害救助法の適用を受けた日から1年間

(災害救助法適用日↓平成30年9月6日北海道告知による)

対象地域

災害救助法の適用を受けた道内17市町村

提出書類

(1)免許申請書等の書類と合わせ、次の書類の提出を求める

ア 手数料免除申請書

イ 災証明書(写し可)、または、災したことを明らかにする施設の写真等

ウ その他(汚損した免許証)

(2)留意事項

ア 被災を証明する書類は、災証明書を原則とする。ただし、その原本を窓口で受けとることにより災証明書の複合物を提出しても差し支えない。

イ 災証明書の提出が難しい場合は、災したことを明らかにする施設等の写真を提出しても差し支えない。

減免の額

全額

冬の運動教室のご案内

冬の運動不足を
解消しよう！



☎保健福祉課保健指導係
(☎②4630)

- ♪運動不足を感じている方
- ♪体重を減らしたい方
- ♪筋肉が落ちてきたと感じている方
- ♪興味はあっても運動をしていない方など
- 体を動かしたい方、ぜひ運動教室に参加してみませんか？

日程

平成31年 ①2月1日(金)

②2月8日(金)

③2月15日(金)

④2月22日(金)

13時30分～15時30分

場所

保健センター 2階集団指導室

内容

血圧測定

楽しく気軽にできる運動

↓ストレッチ、有酸素運動など

対象

えりも町民・体を動かしたい方
※病气などで医師から運動制限を受けている方はご遠慮ください。

講師

地域ウエルネス・ネット（札幌市）
フィットネスアドバイザー

持ち物

タオル、飲み物（水分補給のため）

申込期間・定員

教室当日まで受け付けます

定員20名

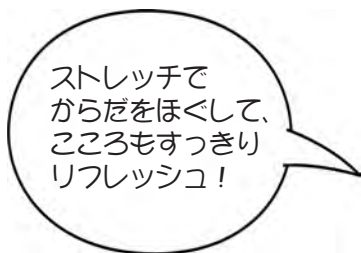
申込先

保健福祉課保健指導係

☎②4630

参加料

無料



ストレッチで
からだをほくして、
こころもすっきり
リフレッシュ！



子宮頸がん 乳がん 骨粗しょう症 検診について



☎保健福祉課保健指導係
(☎②4630)

日程・会場

平成31年2月9日(土)

保健センター

時間・定員

①8時②8時30分③9時

④9時30分⑤10時⑥10時30分

⑦11時⑧13時

子宮頸がん↓60人、乳がん↓50人

骨粗しょう症↓60人

申込締切

平成31年2月1日(金)

定員に達しない場合は
前日まで受け付けます

申込先

保健福祉課保健指導係

☎②4630

子宮頸がん、乳がん、骨粗しょう症
の検診を実施します。
今回の対象者は、子宮頸がん検診
は20歳以上・乳がん検診は40歳以上
で、前年度以降（平成29年4月1日
以降）に検診を受けていない方です。

検診名	対象者	料金
子宮頸がん検診	20歳以上(H10年4月1日以前生まれ)で前年度以降(H29年4月～)子宮頸がん検診を受けていない方	1,500円 (300円)
卵巣エコー検査	子宮頸がん検診を受ける方で希望する方	500円 (100円)
乳がん検診 (マンモグラフィ検査)	40歳代(S43年4月2日～S53年4月1日)で前年度以降に(H29年4月～)乳がん検診を受けていない方	1,600円 (400円)
	50歳以上(S43年4月1日以前生まれ)で前年度以降に(H29年4月～)乳がん検診を受けていない方	1,300円 (400円)
骨粗しょう症検診	S22・27・32・37・42・47・52年度生まれの方	500円 (300円)
	20歳以上の方で上記以外の生年月日の方	1,500円 (300円)

※（ ）内の料金は、検診当日に75歳以上の方、または生活保護世帯の方

※子宮頸がん検診・乳がん検診の対象者で、無料クーポン券をお持ちの方は無料です



スマッピーポイント
発行します！子宮頸がん
100P・乳がん100P

エゾシカの 有害捕獲を 実施します

エゾシカの個体数削減と
被害を抑えるために



圃産業振興課林務係 (☎24623)

近年、エゾシカの個体数が増え、銃器による捕獲が困難な住宅地周辺や放牧地などにも、生息域が広がっています。
山林に入る人が少ないこの時期、エゾシカの個体数削減と被害を抑えるため、有害捕獲を次のとおり実施します。

実施期間

平成31年1月から3月まで

実施日程

●全6回

1月13日回	1月20日回	2月3日回
2月17日回	3月3日回	3月17日回

実施時間

午前7時から正午に終了予定

実施箇所

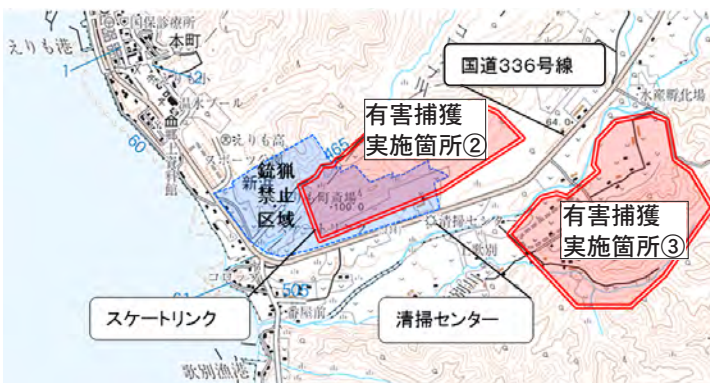
- 国有林（実施箇所①）
えりも岬林業総合センターから風車道路の
苦別側
- 銃猟禁止区域（実施箇所②）
スケートリンク場から清掃センター
- 岡田スタッド放牧地（実施箇所③）
旧エクセルマネジメント放牧地
第4・第5厩舎

有害捕獲実施中は、実施箇所周辺の国道や道道に「のぼり」を設置しています。

実施箇所① 岬林業総合センター～風車道路（苦別側）



実施箇所② スケートリンク場～清掃センター 実施箇所③ 岡田スタッド放牧地（旧エクセル マネジメント放牧地 第4・第5厩舎）



有害捕獲実施箇所付近を車で通過するときは、道路に鹿が飛び出してくる恐れがありますので、ご注意ください。
実施区域周辺の住民の皆さまには、ご迷惑をおかけしますが、安全に万全の配慮を行ったうえで実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。



コンブ漁船に搭乗し
海から襟裳岬を眺望するツアー

コンブボート・クルーズ



モニターツアーの参加者にも大好評でした！

えりも観光協会は、地元住民と観光客の交流により地域の活性化を図るため、漁業者らと協力して「コンブボート・クルーズ」を11月17日から始めました。

無料で体験できるモニターツアーは、参加予定人数に達したため募集を終了しましたが、参加者からは「ゼニガタアザラシやオオワシが近かった」「遊園地のアトラクションのように楽しめた」などの感想があり、大変好評でした。

コースは2コースあり、東航路コース(約30分)は5000円、西航路コース(約50分)は8000円で、襟裳岬周辺の海を旅客定員6人のコンブ漁船で周遊し、参加者が1人でも運航します。

詳細は、コンブボート・クルーズのwebページをご覧ください。事務局へお問い合わせください。



☎コンブボート・クルーズ事務局 ☎090-5228-0111

(受付時間:正午~22時 不定休)

ホームページ▶<https://konbuboot.com/>

募集コース	応募資格	受付期限	採用試験日または期間
第6回 自衛官候補生(男子)	18~32歳	1/18まで	採用試験の期間(うち1日) 男子: 1/26、27
第7回 自衛官候補生(男女)	18~32歳	1/28~2/15まで	採用試験の期間(うち1日) 男子: 2/23、24 女子: 2/23、24
高等工科学校(男子)	中学卒業(見込み)~16歳	11/1~1/7まで	1次採用試験 1/19

自衛隊では次の内容で、平成30年度の自衛官を募集しています。合格発表日は、応募された方以後日お知らせします。

自衛官募集案内



☎自衛隊札幌地方協力本部静内分駐所 (☎0146④2855)

陸上自衛隊第7音楽隊定期演奏会



☎陸上自衛隊第7師団 広報・渉外班(☎0123③5131・内線2247)

日程

3月9日(土)

開演18時(開場17時30分)

会場

北広島市芸術文化ホール

(花ホール)

入場料

無料

※応募による入場整理券が必要(往復はがきまたはインターネットメール1件で、2名様までのご応募ができます)

詳細

第7師団ホームページをご覧ください。

<http://www.mod.go.jp/gsd7/nae/7d/event.html>





紙皿とストローで歩くペンギンを作って競争

身 近な材料でつくってみよう！

NHKのEテレ「つくってあそぼ」のわくわくさんこと、くぼたまさとさんの工作ショーが福祉センターで、開かれ、約100人の小学生や親子連れの参加がありました。くぼたさんは、身近な材料で簡単に作れる工作を次々と紹介。参加者は、ゾウの輪投げや歩くペンギンの作り方・遊び方のコツを教わりました。最後は、色付きゴミ袋でサメとクジラの大きな風船を作り、アシスタントの山田リイコさんチームと風船トス競争で盛り上がりました。

飲 料水802本を寄贈

北海道コカ・コーラボトリング(本社・札幌市)は、同社の清涼飲料水802本をえりも町へ寄贈しました。役場での贈呈式で、苫小牧事業所日高販売課の菊地昌博課長は大西町長へ目録を手渡し「道内の社会福祉施設へ寄贈を続け、51年目を迎えました。今後も、地域を応援する取組みを続けます」と話し、大西町長は「毎年ありがとうございます。各施設に届けます」とお礼を述べ、同社の地域貢献に感謝しました。



大西町長(右)に目録を手渡す菊地課長(左)

平成17年広報紙 で見る町の歩み

主な出来事

佐々木町長の辞任と
岩本町政の発足

表紙

平成17年12・1月合併号
3漁協が合併へ



平成17年の新年挨拶で佐々木隆人町長は「3月には合併特例法の期限を迎え、えりも町は当面、自立の道を選択する」と断言。学校統合が検討されていた目黒小・中学校で2月、恒例の「雪中運動会」を行い地域ぐるみで楽しむ。16年1月の斜面崩落事故で、夜間の通行止めが続いていた黄金道路が、2月中旬ようやく全面開通して、町民の不安や不便が解消。3月定例町議会最終日に佐々木隆人町長は、肝臓疾患治療の専念を理由に、9期半ばで町長の職を辞することを表明した。有権者4千8百人を対象に3月に「町村合併アンケート調査」を実施し、約半数からの回収で「合併しない」が約64%を占める。町長選挙は5月29日に投票が行われ、前収入役の岩本溥叙氏が無投票で当選。

6月の定例町議会で、佐々木前町長に「名誉町民」の称号を贈ることを可決。佐々木前町長が、肝臓がんで6月30日に死去し、町と道町村会の合同葬が7月10日、えりも小体育館で国会議員など道内外から約800人が参列して営まれ、34年の功績に感謝した。7月、えりも中野球部が5年連続、中体連全道大会へ出場する。8月の「えりもの灯台まつり」には、人気歌手・伍代夏子さんが歌謡ショーに出演し、さらに特養老人ホーム・やまと苑も慰問。9月、長年、町議を務めた庶野在住の金澤鶴蔵さんが、町内での最高齢の100歳を迎える。ボランティアの協力で進めてきた「猿留山道復元3か年計画」が終了する。12月4日、目黒小・中学校の閉校式が行われ、卒業生ら130人が参列して閉校を惜しみながら在りし日の思い出を慕う。平成18年4月から小学校は庶野小に、中学校はえりも中に統合する。



中野さん（左）と福原さん（右）



NaNa☆さん（左）と小島さん（中）と倉田さん（右）



MEDIAS ZONEの金子さん（右から2人目）と轟カーニバル

町 へりもミュージック・フェスティバル 出身のアーティストとコラボ

町福祉センターで「へりもミュージック・フェスティバル2018」が開かれ、来場者はプロと地元バンドの演奏や、コラボバンドを楽しみました。

イベントには、町にゆかりのあるプロのミュージシャンが札幌や東京から集い、ボランティアで出演してくれました。鈴木悠治さん（札幌市）の司会で、ステージは進行。町出身のシンガーソングライター中野悟朗さんは、札幌市出身でシンガーの福原美穂さんを姉にもつ福原望さん（横浜市）と出演。アカシックレコーズ（札幌市）からは、中間真永代表、へりも町出身のドラマー小島啓資さんが所属するMEDIAS ZONEさん、NaNa☆さん（東京）、が出演しました。

町内からは、町のイベントで活躍する轟カーニバルや学生時代にバンド活動をし、中野さんの姉になる倉田菜未さんが、ソロの弾き語りやプロとコラボのステージを緊張したおもちで実現。ラストは、昨年のワークショップで、中野さんがへりもの子どもたちと一緒に作詞・作曲し、へりも町を歌ったオリジナルソング「大切なまち」を出演者全員で合唱し、4時間に及んだステージの幕を閉じました。

税 庶野小で租税教室の「出前授業」 の役割を学ぶ

庶野小で租税教室の「出前授業」が開かれ、税金の必要性や使い道について6年生の5人が学びました。講師は、役場税務課職員の三浦香菜子さん。授業では、税の役割や使い道などを、アニメ上映やクイズ形式の問題を解いて学びました。全国の公立学校の小学生1人あたりの年間教育費が89万4千円であることや、日本には税金の種類が50種類あることを学び、児童や庶野小の先生方も驚いていました。



税金で建てられたものを街の地図で確認



道選抜メンバーに選ばれ活躍した久保田選手

道 へりも新栄野球少年団の選手が活躍 選抜チームが全国大会で準優勝

へりも新栄野球少年団の久保田拓希さん（へりも小6年）は、北海道チャンピオンシップ選抜チームのレギュラーとして選ばれました。同チームは12月15日、16日に岡山県倉敷市で開かれた「第15回西日本選抜学童軟式野球倉敷大会」に出場し、久保田さんはエースピッチャーとして活躍。同チームは決勝まで勝ち進みましたが、倉敷選抜チームに1対2で惜しくも敗れ、準優勝の成績を残しました。

こんにちは
保健師です

スマホやタブレットで子どもが失うもの

保健センター
☎②4630
保健福祉課
☎②4622

スマホやタブレットは、現代社会にとって、なくてはならない必需品となっています。上手に使うことができれば、便利で生活を豊かにしてくれます。しかし、その一方で、犯罪やいじめ、心身の健康を損なうことが分かっています。

視力低下だけでなく失明に至る危険性も

スマホやタブレットなどの電子機器からは、ブルーライトという光が出ています。小さい画面を一点に見つめるため、光が目に入りやすく、網膜や角膜を傷つけて視力の低下につながります。

0〜6歳は、両目でバランスよく物を視たり、ピントを調節したりする機能が育つ時期です。そのため、子どもは光の影響を受けやすく、将来、緑内障や網膜剥離など、失明に至る危険性が高くなると思われます。

体内時計が乱れ、睡眠障害を引き起こす

ブルーライトは、睡眠と覚醒に関係しているメラトニンというホルモンの分泌を低下させ、体内時計を狂わせることが分かっています。スマホやタブレットを見ながら寝る習慣を続けていると、朝起きられない、夜中に何度も目が覚める、昼間眠くなるといった睡眠障害が、思春期頃から起こりやすくなります。

スマホ・タブレット依存症に陥る

テレビと違って簡単な操作で画面が変わっていくスマホやタブレットは、子どもにとって魅力的です。スマホやタブレットの使用時間や約束を守れない、イライラしやすくなるなどの反応は、依存症の兆候と言われています。

脳が傷つき、発達に影響を及ぼす

ハーバード大学との共同研究で15000人の脳をMRIで調査し、「子どもの脳を傷つける親たち」という著者でもある福井大学教授友田明美さんによると、スマホやタブレットを長時間使用していた子どもは、右脳と左脳をつなぎ感情をコントロールする脳梁という部分が縮小し、集団行動がとれない、落ち着きがない、キレやすい、学習能力の低下につながる警告されています。

親子の愛着、信頼関係を損なう

スマホと親子の関係について、世界中に衝撃を与えたシンガポールの小学生が書いた作文があります。この作文には、親に自分を見てほしいという思いが「パパとママのスマホになりたい」という率直な言葉で表現されています。日本の人気絵本作家のぶみさんは、この作文を元に「ママのスマホに

なりたい」というタイトルで絵本化しています。子どもではなく、ぜひ、お父さん、お母さんに読んでいただきたい絵本です。

子どもの顔とスマートフォンの画面、どちらを多く見えていますか。気がつかないうちに、「自分は親に大切にされていない」というメッセージを子どもに送っているかもしれません。

子どもの健康と心を傷つけないために、大人がスマホ、タブレットの使用について見直してみよう。



「ぼくの願い」(要約)

ぼくの願いはスマートフォンになることだ。ママとパパはスマートフォンが好きだから。ママとパパはいつもスマートフォンの事ばかり気にして、ぼくの事を気にしてくれない。パパは疲れて帰ってきてても、スマートフォンのための時間はあるけれど、僕のための時間はない。ママとパパは、大切な仕事をしている時でも電話が鳴ったら、すぐに電話をとる。ぼくが泣いても、気にかけてはくれないけれど…。ママとパパは、ぼくとはなく、スマートフォンで遊ぶ。ママもパパも、電話で話しているときは、ぼくが大切なことを伝えようとしても、決して話しを聞いてくれない。だから、ぼくの願いはスマートフォンになることだ。

1月の保健メモ

場所：♡…保健センター ♣…町立診療所

予約：保健センター ☎②4630

10日(木)・11日(金) ♡子供料理教室(要予約)

【時間】10時～13時30分

**10日(木)・2/7(木) ♣二種混合予防接種・日本脳炎
予防接種(Ⅱ期・特例)**

【時間】15時30分～16時

【要予約】前の週の金曜日まで

10日(木)・24日(木)・2/14(木)・2/28(木) ♡予防接種

【要予約】実施日の3日前まで

【種類と時間】

- ヒブ/小児用肺炎球菌ワクチン(同時接種可)
13時40分～13時50分
- BCG/四種混合(同時接種)・四種混合のみ
14時～14時10分
- B型肝炎/四種混合(同時接種)・B型肝炎のみ
14時10分～14時20分
- 水痘/麻しん風しん混合(同時接種可)
14時30分～14時40分
- 日本脳炎(Ⅰ期)
14時40分～14時50分

16日(木)・23日(木)・2/13(木)・2/27(木) ♡浦河ひがし

町診療所巡回診療

【時間】14時～15時 【要予約】☎0146②7800

22日(木)・2/19(木) ♡乳児健診(個別通知)

【時間】9時～11時

**29日(木)・31日(木)・2/5(木) ♡歯っぴい健診(個別
通知)**

【時間】13時15分～14時

町外で予防接種ができる医療機関

○浦河赤十字病院 小児科☎0146②5111

ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、麻しん風しん、
日本脳炎、B型肝炎、四種混合(要予約)

○広尾町ファミリークリニック 小児科☎01558②2700

ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、麻しん風しん、
水痘、日本脳炎、B型肝炎

※毎週(木)・(木)実施。(月)・(火)・(金)の接種は要相談

▷ロタ・おたふく、大人の風しんの予防接種の助成
を希望される場合は、接種前に保健予防係へご
連絡ください。

▷不妊治療への助成を行っています。保健予防係へ
お問い合わせください。

地域包括支援センター 1月の事業日程

【申込先・お問い合わせ先】

地域包括支援センター(☎②4888)

事業名	日時	内容	対象	会場
えりもカフェ	16日(木) 14時～15時30分	どなたでも自由に参加できます。介護や健康についての相談や情報交換の場としてご利用ください。	年齢制限はありません	役場正面 玄関ホール
あたまの健康チェック	毎週木曜 9時～11時 希望の時間をお知らせください	10分程の時間でできる検査です。簡単な質問に答えるだけで、頭の健康を簡単にチェックします。生活習慣の改善に役立てることができます。	60歳以上	役場 保健 センター
「運動教室」 竹田作業療法士	18日(金) 9時30分～11時	作業療法士による運動、ストレッチ、レクレーションなどを行います。若々しい身体づくりを目指します。		福祉 センター 老人室
いきいき百歳体操 ・かみかみ百歳体操	9・23日 各水曜日 10時～11時	おもりを腕や足に付けて行う筋力運動と口腔機能を維持、向上させる体操を行います。	年齢制限はありません	
いきいき百歳体操 ・ふまねっと運動	16・30日 各水曜日 10時～11時	いきいき百歳体操を行ったあとに、ふまねっと運動を行います。この運動は、全身のバランスや認知機能を向上させる効果があります。		

一般書

LDK暮らしのベストアイデア 2019

晋遊舎

世界一親切な大好き！家おやつ 藤原 美樹
本当に使える！防災用品カタログ

マガジンボックス

すべては「乾かない肌」でいるために

有村 実樹

東京二十三区女

長江 俊和

児童書

絶滅どうぶつ図鑑

ぬまがさわたり

レッツとネコさん

ひこ・田中

ノラネコぐんだんおぼけのやま 工藤ノリコ

怪談オウマガドキ学園30 異界ツアーで体験学習

童心社

おってあそぼ！アンパンマンうごく！あそべる！

やなせたかし

防災 情報版

97

昨年は胆振東部地震もあり、北海道の地震災害に対する防災・減災について今一度考えさせられる年でした。新しい年を迎え、今年も防災意識を

向上するための様々な情報を発信していきたいと思います。

今回は冬季の地震・津波災害について考えます。昨年9月の胆振東部地震の際、全道的に停電となりましたが、停電を想定した暖房の確保は出来ていたのでしょうか。最近のストーブは電気の供給が必要なものが多くあります。電気の供給が止まっても作動する単純な暖房器具は確保できていたのでしょうか。

また、積雪により夏季よりも避難に時間がかかることが予想されます。大津波から適切に逃げるための準備はできていたのでしょうか。各自が避難するための避難路が積雪により通れない、または除雪がされない危険な箇所が存在しないか、事前チェックはされているのでしょうか。事前チェックにより、避難経路を変更するなど各自でできる対策を考えましょう。避難することが想定される避難所では暖房の確保はできていたのでしょうか。暖房のための燃料は十分に確保されているのでしょうか。避難所の暖房器具を作動させて点検しておきましょう。

また、地震による大きな揺れに突然襲われた際、冬季は様々な場所で火を扱っている機会が増えています。それぞれの場所ですぐに消火が実施できるか、消火器の準備や消火器の種類、位置、使用方法など、家族全員で確認しておきましょう。

さらに消火器の有効期限についても確認し、古いものは事前に交換しておきましょう。

新年も地震・津波災害に備えた町づくりを目指して、少しずつ防災・減災対策が進むことを期待します。また、それらの対策を家族で継続することで、持続可能な災害対策となるよう心がけましょう。



谷岡 勇市郎

北海道大学地震火山研究観測センター 地震観測研究分野教授、Ph.D.

米国ミシガン大学博士課程修了後、気象庁気象研究所研究官、北海道大学助教授を経て2010年4月より現職。

専門は地震学(巨大地震・津波)。

こころで一句

えりも吟社

あるがまま生きて八十路や冬に入る

石森美恵子

美しき神秘の沼へ竜田姫

佐々木 蓉子

十勝野は収穫終えて秋深む

佐々木 凌子

検診でやれ安心ぞビール呑む

鈴木 勇高

梨熟れて枝のたわめる重さかな

平野 正子

捨て舟の砂にひっそり野菊かな

川村 和子

おすすめの **新刊** 情報

本

図書室だより

- 開室日時
月・水曜日～日曜日
9時～17時
- 閉室日
火曜日・祝日・年末年始



図書室マスコットキャラクター
BOOK(ブック)くん



沈黙のパレード

著者 東野 圭吾 出版社 文藝春秋

秋祭りのパレードで起きた殺人事件の容疑者は、かつて草薙が担当した少女殺害事件で無罪となった男。だが男は証拠不十分で釈放され、堂々と遺族達の前に現れる。超難問に突き当たった草薙は、アメリカ帰りの湯川に助けを求める。



キラキラッとほしがかがやきました

作画 宮西 達也 出版社 ポプラ社

友だちだと思っていた恐竜たちから裏切られたティラノサウルスは、もう誰も信じないと思っていましたが、寂しがり屋の恐竜デイノケイルスのディケルと出会います。いつも誰かを思っている恐竜たちの絆の物語です。

〒福祉センター図書室

☎2526 E-Mail: erimolib@seagreen.ocn.ne.jp

えりも しりょうかん MUSEUM

えりもの生き物

エゾリス

7

エゾリスはユーラシア北部に生息するキタリスの北海道産亜種です。木の実や植物の葉・花、樹液、キノコ、昆虫、動物の骨や小鳥の卵など何でも食べる雑食性です。

木の枝の付け根や幹の股に小枝や樹皮で球形の巣を作ります。このような巣は主に針葉樹に作り、広葉樹の場合は樹洞の中に樹皮などの巣材を入れて巣にします。

冬眠はせず、秋に地中に埋めておいた木の实などを、冬に掘り出して食べます。積雪期でも50cm程度の根雪を掘り、エサを探し出す能力を持っています。

夏と冬に毛変わりをし、夏毛は焦げ茶色、冬毛は茶色がかった灰色です。冬毛は夏毛の二倍の長さがあり、耳元には四センチメートル程度の毛(ふさ毛)があります。



エゾリス

えりも町内では、豊似湖周辺・百人浜緑化地・庶野さくら公園などで、その姿を見ることが出来ます。

防犯



浦河警察署

緊急通報は110番、相談電話は「#9110」に！

☎0146②0110

110番は、緊急の事件・事故などを、警察へ通報するための緊急電話です。メール110番は、耳や言葉の不自由な方や、声を出せない状況にある方がインターネットに接続可能な端末のEメール機能を利用して緊急通報するシステムです。通報するときには「事件・事故の内容」「住所や目標となる建物」「メールアドレス」を正しく入力してください。遺失物・拾得物の届け出、諸手続に関する照会などは、最寄りの駐在所へ電話を、相談や警察業務に関する意見・要望は、短縮ダイヤル「#9110」の警察相談専用電話をご利用ください。ダイヤル回線電話、IP電話等で短縮ダイヤルが利用出来ない場合は、次の番号におかけください。

北海道警察本部
☎ 011-241-9110



空き家



空き家を有効活用

空き家情報登録制度

☎町民生活課 環境生活係

☎②4621

●空き家情報の登録

役場町民生活課 環境生活係まで。

●購入を希望される方

所有者へ直接連絡して、交渉・契約をお願いします。

*空き家情報は、現在3件登録中。

【空き家所在地】東洋・庶野

町のホームページでも公開しています。

▷最新物件情報

物件内容	木造住宅（土地付き）
住 所	えりも町字庶野650番地
連 絡 先	大島さん ☎090-9520-1358
そ の 他	売却希望

気象情報



室蘭地方気象台

暴風雪について

☎0143②4249

冬にテレビや新聞等で見られる天気図において、大陸に高気圧、北海道の東に低気圧のある「西高東低の冬型の気圧配置」となることがあり、日本海側を中心にふぶくことが多くなり、風向などによっては胆振・日高地方でもふぶく場合があります。この場合、等圧線の間隔が狭いほど風は強く吹きます。

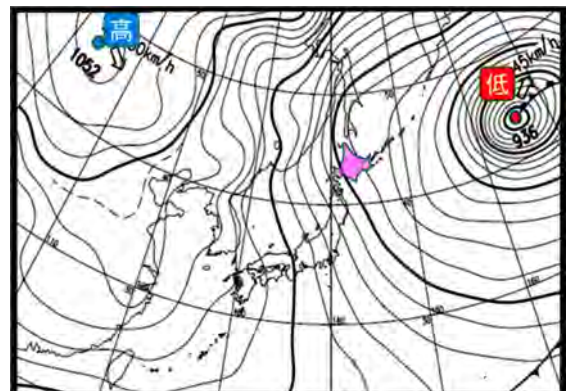
胆振・日高地方で、猛ふぶきや吹きだまりによる交通障害などで重大な災害の起こる恐れがある場合、気象台では「暴風雪警報」を發表します。

暴風雪警報の發表中は、晴れていても一瞬で猛ふぶきになるなど、天気変化が激しい場合もありますので、屋外での行動は危険をとまいません。

特に車の運転は、雪やふぶきで事故の可能

性が高まります。また、雪や交通渋滞で車が止まると周辺に雪がたまり、排気ガスにより一酸化炭素中毒を起こす危険も出てきます。やむを得ず運転するときは、道路の通行止めや規制の確認と共に、閉じ込められても対応できる装備も必要です。家では停電に備え、ラジオ・懐中電灯・乾電池などを準備しておくことよいでしょう。

何より、テレビ・ラジオ等で最新の情報を確認し、外出を延期するなど、的確な行動をとることが重要です。



西高東低の冬型の気圧配置

法律相談



無料法律相談

ひだか弁護士相談センター

お問い合わせ・予約先

☎0146④8373

●相談日・会場

1月22日(木) 2月19日(木) 保健センター

●相談時間

13時30分～16時

※事前予約制(予約受付:平日10時～16時)

免許



運転免許更新時講習

岡町民生生活課 環境生活係

☎②4621

●講習日・会場

1月23日(木) 福祉センター

●講習時間

○優良講習 13時～13時30分

○違反講習 14時～16時

医療



町立診療所と庶野診療所の診療表

1月1日～1月31日

岡町立診療所 ☎②2265 道立庶野診療所 ☎④2219

1月1日から1月31日までの診療は、右表のとおりです。

また、町立診療所の診療は、町の公式ホームページからも確認できます。トップページから国民健康保険診療所のページへアクセスしてご覧ください。

なお、都合により診療予定が変更となる場合もありますので、ご了承ください。

●受付時間

◇町立診療所

8時30分～11時30分

13時～16時30分

◇道立庶野診療所

9時～11時30分

14時～16時30分

●診察表の見方

○…診 察

休…休 診

訪…訪問診療

	町立診療所						道立庶野診療所	
	内科		外科		小児科		午前	午後
	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
12/31 (月)	休 診							
1/1 (祝)～1/4 (金) 休 診								
1/7 (月)	○	○	○	○	○	○	休	休
1/8 (火)	○	○	休	休	○	訪	休	○
1/9 (水)	○	○	休	○	○	訪	○	休
1/10 (木)	○	○	休	休	訪	訪	休	休
1/11 (金)	○	休	休	休	○	○	休	休
1/14 (祝)	祝 日 (成人の日)							
1/15 (火)	休	○	休	休	○	○	休	休
1/16 (水)	○	○	休	休	○	○	休	休
1/17 (木)	○	○	休	休	○	○	休	休
1/18 (金)	○	○	○	○	○	休	休	休
1/21 (月)	○	○	○	○	○	○	休	休
1/22 (火)	○	○	休	休	○	訪	○	○
1/23 (水)	○	○	休	休	○	○	○	○
1/24 (木)	○	○	休	休	訪	訪	○	○
1/25 (金)	○	○	○	○	休	休	休	休
1/28 (月)	○	○	○	○	休	休	休	休
1/29 (火)	○	○	休	休	○	○	休	休
1/30 (水)	○	○	休	休	○	○	休	休
1/31 (木)	○	○	休	休	○	○	休	休

※1/9の外科(大庭医師)の診察は、午後2時から

※1/18・1/21の内科と外科の診察は、午前10時から

※1/25の内科と1/28の外科の診察は、午前10時から

※1/25・1/28の小児科の診察は、医師不在のため休診

◇金利

年1.78% ※母子家庭の方などは年1.38%
(平成30年11月12日現在)

◇ご返済期間

15年以内 ※母子家庭の方などは18年以内

◇ホームページ

「国の教育ローン」で検索

●生活保護に関する全国一斉の無料相談ダイヤル

☎釧路青年司法書士協議会 ☎0156-65-2198

FAX0156-67-7207 ✉kushiro.yasuda@gmail.com

全国青年司法書士協議会は、生活保護に関する全国一斉の無料相談会を次の日程で開催します。相談は無料で、秘密は厳守いたします。この機会に是非ご利用ください。

◇日時

1月27日(日) 10時～16時

◇相談専用電話番号

☎0120-052-088(当日のみの専用ダイヤル)

●林業退職金共済制度(林退共)の退職金請求について

☎独立行政法人勤労者退職金共済機構 林業退職金共済事業本部 ☎03-6731-2889 FAX03-6731-2890

林業の仕事に従事されたことがあり、当時、林退共制度に加入していた方、もしくは加入していたかもしれない方で、退職金請求手続きをしたお心あたりのない方は、お気軽に最寄りの支部または、本部へお問い合わせください。

また、林退共事業本部では、被共済者の方に確実に退職金を受け取っていただくこと等を目的として、現況調査、アンケート調査を実施しておりますので、ぜひ調査にもご協力いただきますようお願い申し上げます。

●詳しくはホームページでもご案内しております。

<http://www.rintaikyotaisiyokukin.go.jp/>

●見慣れない船(国籍不明の木造船など)を見つけた場合は118番または110番へ

☎北海道 総務部危機対策局危機対策課・総合政策部 国際局国際課・水産林務部水産局漁業管理課 ☎011-231-4111

どこの国から来たのかわからない船が、本道に流れつくことがあります。

見慣れない船を見つけたときなどには、近づくことなく、速やかに、海上保安庁(118番)または警察(110番)に通報してください。

●南の島で国際交流「第43回ちびっこ探検学校ヨロシノ島」参加者募集

全国から参加する仲間と生活を共にしながら、サンゴ礁の海やヨロン島の美しい自然を舞台に、仲間の大切さや、言葉や習慣を越えて友情を深め、国際感覚を身に付ける第一歩になります。

今度の春休みは、思い出に残る楽しい体験をしに南の島「ヨロン島」に行きませんか。

◇日程

3月27日(日)～4月2日(日) 6泊7日

◇場所

鹿児島県大島郡与論島

◇定員

300人(日本人・在日外国人の小学2年～6年生)

◇説明会

仙台、福島、東京、静岡、名古屋、京都、岡山、福岡の8都市で開催されます。事前予約不要・参加費無料で、どなたでも参加いただけます。

会場が遠い方、当日他の予定で参加できない方には、郵送にて説明会資料をお送りします。

◇申込締切

3月5日(日)

◇参加費(出発地別)

千歳空港をご利用の場合 172,000円

※プログラム参加費+旅費の合計

◇資料請求・お申込み・お問合せ

公益財団法人 国際青少年研修協会

☎03-6417-9721 FAX03-6417-9724

✉info@kskk.or.jp

ホームページ <http://www.kskk.or.jp>

1月の行事

- 1日(日) 初日の出 風の館臨時会館
(5時～8時)
- 5日(土) 消防出初式
(消防えりも支署前/9時30分～)
- 9日(日) 日高王国写真展
(福祉センター/1月20日まで開催)
- 13日(日) 成人式
(福祉センター/13時～15時)
- 14日(祝) 第55回つけものコンクール
(福祉センター/10時～13時)

暮らしの 掲示板

1

11月末の人口と世帯数



人口 4,727人 (±0)

男: 2,369人 (-3)

女: 2,358人 (+3)

世帯数 2,133世帯 (+9)

※外国人含む、()内は前月比

11月末の人口動態

出生1人 死亡2人 転入7人 転出6人

税の納期

◆国民健康保険税 第7期
(納期限 平成31年1月31日 困)

お知らせ

●年末年始のごみ収集と直接搬入受入時間

☎清掃センター(町民生活課清掃係) ☎④4323

	清掃センター 燃やせるごみ	埋立処分場 燃やせないごみ・粗大ごみ	ごみ収集
12/22 土	休み	13時～16時	休み
12/23 日	13時～16時	休み	
12/24 月	休み	13時～16時	
12/25 火～ 12/28 金	8時30分～ 16時30分	8時30分～ 16時	平常どおり
12/29 土	8時30分～15時		※
12/30 日	8時30分～15時		休み
12/31 月	8時30分～11時30分		
1/1 祝～5日 困はお休みです			
1/6 日	13時～16時	休み	
1/7 月～	平常どおり		

※12月29日は、燃やせないごみの代替収集と資源ごみの収集となります。

(燃やせるごみは、収集しません)

燃やせないごみ▶近浦から新浜地区の収集

資源ごみ▶午前:えりも岬全域、東洋第4自治会
午後:東洋第1～3自治会・歌別第1～3自治会

障がい者相談支援事業所「ういず」をご利用ください

☎障がい者相談支援事務所「ういず」

☎/☎0146②6246 ☎uizu@u-kouyouen.jp

☎057-0032 浦河町向が丘西2丁目568-66

町では、障がいのある方の困りごとや相談に答えるため、相談支援事業所「ういず」へ支援業務を委託しています。

「ういず」では、来所や電話、訪問による相談のほか、月に1度、役場保健センターで巡回相談を行っています。一般的な相談は無料ですので、お気軽にご利用ください。

◇巡回相談日程

1月21日 困 2月18日 困

◇時間

10時～12時

●定例行政相談所(1月)の開催

☎総務課庶務係 ☎②2111

総務省の行政相談は、国など行政への苦情や意見、要望を受け付け、相談者と行政機関の間に立ち、公正・中立の立場から、問題解決を目指す制度です。実際の相談は、総務大臣から委嘱を受けた行政相談委員が対応します。

毎月、第4火曜日の10時から12時まで、定例で行政相談所を開設します。困りごとや苦情・ご意見・ご要望がありましたら、お気軽にご相談ください。

【担当行政相談委員】 鍵谷 俊一

◇日時

1月22日 困 10時～12時

◇場所

保健センター2階 集団指導室

●お子さまの教育資金を「国の教育ローン」(日本政策金融公庫)がサポート!

☎教育ローンコールセンター

☎0570-008656(ナビダイヤル)または
03-5321-8656

「国の教育ローン」は、高校、短大、大学、専修学校、各種学校や外国の高校、大学等に入学・在学するお子さまをお持ちのご家庭を対象とした公的な融資制度です。

◇ご融資額

お子さま1人につき350万円以内



昔の暮らしや仕事の道具を見て学べる「郷土資料展」が11月30日から12月7日まで、笛舞小で実施されました。12月4日は、郷土資料館の高木大稔学芸員が笛舞小に出向き、児童に展示されている道具の説明を行いました。その後、昔の道具を使ったせんべい焼きの体験と炭火アイロンの実演を行い、炭火で焼かれたせんべいには梅の型が押し当てあり、児童は美味しそうに食べていました。



第5回目の「わらしやんど・えりもまるごと自然体験」は、まゆだまとリース作りを行いました。えりも高の風極プロジェクト同好会の4人もボランティアで参加してくれました。12月1日、百人浜でリースの土台になるツルウメモドキのつるを探し、福祉センターに戻ってから、リボンやベルなどで飾り付けをし、完成させました。まゆだま用のお餅は、N42度の会の会員と一緒に、色を付けて木に飾りつけました。

街角トピックス



12月15日、16日の2日間、えりも漁協直売店では、毛ガニや鮮魚の販売を行い、ゆで毛ガニ(300g)を1杯1,815円で、限定30杯(1人2杯まで)販売しました。店の前には、9時の開店前から列ができ、限定の毛ガニはすぐに売り切れました。鮮魚は、真カジカ256円、柳の舞260円、八角(小)120円、八角(大)307円、黒ソイ345円など特価で販売され大人気。海産物の加工品などがお得な詰め合わせになった「お歳暮セット」も好評で、お正月用に買い求める客や地方発送する客でにぎわいました。



えりも町公式ホームページ →
スマートフォン版のホームページでは、カラーの「広報えりも」がご覧になれます。



えりも町公式facebook →
観光やイベントなどの情報をより多くの皆様に、いち早くお知らせします！

